

尚徳寮

平成30年1月31日

鳥取大学附属中学校

No. 11

新年を迎えずでに1ヶ月経とうとしています。保護者の皆様、本年もよろしくお願ひいたします。

さて、3年生はただいま受検のまっただ中です。1月、2月と私立高校入試や推薦入試が続き、3月6日（火）、7日（水）には県立高校の一般入試が行われます。これまで、鳥取県の実情として県立志向が強かったですが、近年は私立高校を第1希望に選ぶ生徒も増えてきました。将来の夢や自分の適性、そして各高校の教育内容や今の自分の学力等を総合的に判断し、最終的な進路決定をしてほしいと思います。ここに入学すれば将来が約束されるというような高校はありません。「3年後に自分が頑張れた、自分を伸ばすことができた」と実感できてはじめてよい進路選択をした」ということになります。要は高校入学後の自分次第ということです。仮に、第一希望の高校を変更して受検することになっても、志を高く持って前に進んでほしいと願うばかりです。頑張れ、3年生！

「国際交流生徒作品展」開催

年が明けた1月4日（木）～10日の期間、とりぎん文化会館1階展示室を会場に、本年度の「国際交流生徒作品展」を開催しました。イギリスのニューステッドウッドスクールとの交流やスペインのカスカレス中等学校との作品交流を初め、各教科の取り組みを広く学校外の方にも知って頂く為に展覧会を開催しています。期間中の来場者は累計308名と、幅広い年齢層の方に附属中学校生徒の作品をご覧頂きました。作品展の印象をアンケートでお聞きしたところ、「大変満足」が43%、「満足」が57%と、好評でした。頂いたご意見、ご感想を紹介します。

（作品展全体を通しての感想）

○「豊かな時間を過ごさせて頂きました。一つの作品、展示の裏に丁寧な積み上げのあることがよく分かりました。附属中学校生徒の自由な、発想豊かな感性がさらに伸びていくことができる環境が続くことを願っています。」（60代女性）

○「一卒業生として見させて頂きました。当時は、ただ、教科だけの勉強をしていたと記憶していますが、会場に来て大変すばらしい発見をさせて頂きました。将来のある若人ですので、楽しみに活躍を見守りたいと思います。」（60代男性）

○「こういった取り組みがあると、附属中がどのようなことに力を入れているかがよく分かります。」（40代女性）

○「我が子が附中の卒業生ですが、その時にこういういろいろな人に見てもらえる機会があったらよかったです。素敵でした！」（50代女性）

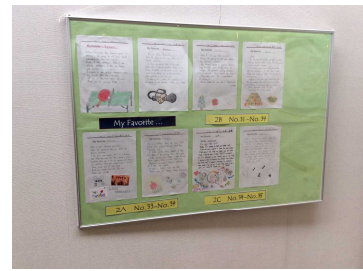
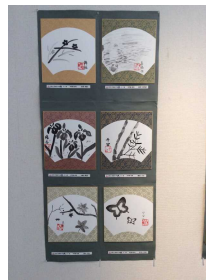
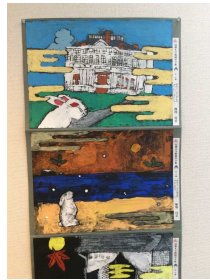
○「新聞を見て（作品展を）知った。孫が附中に在籍しており、孫の展示もあったのだが、（孫は）教えてくれなかった。きっと恥ずかしかったのだろう。いい作品が多くて見応えがあった。」

（70代男性）

○「毎年、楽しく拝見しています。どのような取り組みをしておられるのかよく分かるので、今後も続けて頂けたらと思います。」（40代女性）



- (国際交流について)「制作された和菓子がとてもおいしそうでした。若い時に海外との交流があることは価値観の比較につながるし、自分の国のことを知る機会にもなる。生徒の将来に大きく貢献できる (取り組みである。)」(60代男性)
- (英語)「附属の英語力の高さを感じました。」(30代男性)
- (数学)「数学の授業でこんなことがされていることに驚きました。(日本とロシアを Skype でつなぎ、「環境問題について数学のグラフを通して考える」授業のこと) 授業の様子もよく分かりました。」(40代女性)
- (社会)「自分の経験を堂々と伝える。授業で生徒が発表する姿、素敵ですね！」(40代女性)
- (理科)「昨年引き続き見させて頂きました。一人一人の力作に楽しませて頂きました。昨年と比較して鑑賞いたしました。」(60代女性)
- (美術)「ふぞく三十六景がよかったです。ウサギがいる点もいいのかも知れません。」(40代女性)



3年政田愛梨さん 都道府県対抗女子駅伝に出場!

京都で開催された都道府県対抗女子駅伝に、鳥取県代表選手として選ばれチームに貢献する走りを見せてくれた政田愛梨さん。大会までの練習や当日を振り返り感想を書いてもらいました。

「私は今回都道府県女子駅伝で、3区を走らせて頂きました。

大会前の合宿で怪我をしてしまい、もう本番は走れないと思っていましたが、たくさんの方がサポートしてくださり、無事走ることができました。支えて下さった方に、本当に感謝しています。

今回、納得のいく走りができず悔しかったので、また一から練習し、来年リベンジしたいです。」



国際交流 ペンパル (海外文通) の取り組み

今年度 10 月下旬に、イギリスニューステッドウッドスクールより 23 名の中学生が来校し交流学習を行いました。そして、11月にペンパルの募集をしたところ 15名の生徒から申し出があり、手紙のやりとりを始めています。附中生は英語で、イギリスの生徒は日本語で文通しています。もう少し人数を増やして多くの人が関わられる交流にしたいと考えています。

イギリスから届いた手紙

